



株主のみなさまへ

# 第65期 中間報告書

平成26年7月1日～平成26年12月31日



TAKAMISAWA  
株式会社 高見澤

証券コード：5283



代表取締役社長  
高見澤 秀茂

株主のみなさまにおかれましては、平素より格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第65期中間報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

昨年8月に発生いたしました、環境エンジニアリング事業部リサイクルセンターの火災につきまして、株主のみなさま始め多くの方々大変ご心配をお掛けいたしましたこと深くお詫び申し上げます。現在リサイクルセンターは事業内容を縮小いたしました但し営業活動は継続中であり、倍旧のご支援ご鞭撻を宜しく申し上げます。

当中間期における当社グループを取り巻く経済環境は、公共投資は高水準を維持し、民間設備投資も増加傾向にあります。太陽光発電設備等の需要は堅調に推移いたしましたが、住宅投資は減少の傾向にあります。また、円安による

原材料費のコスト上昇に加えて個人消費の減退等厳しい経営環境のもと推移いたしました。

このような情勢のもと当社グループは、より一層の営業力強化と徹底的なコスト管理により収益確保に全力を傾注してまいりました。

その結果、売上高は微減でありましたが、営業利益、経常利益とも前年同期を上回り、純利益においては前年同期のほぼ2倍の結果を得ることができました。

今後においては、原油価格の乱高下等不安材料はありますが、目標達成に向け全社員一丸となって取り組んでまいり所存でございます。

株主のみなさまにおかれましては、何卒ご理解をいただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年3月

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策によって、円安や株価の上昇を背景として企業業績の改善が見られたものの、消費税増税前の駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れ懸念などから先行き不透明さが拭えない状況が続きました。

当社グループの主体である建設業界におきましては、公共工事が総じて堅調に推移し、民間企業の設備投資も増加傾向にあるものの、住宅投資の低調に加え、労務費用や建設資材価格の上昇など厳しい経営環境が続きました。

このような経営環境の中にあつて、当社グループは、一層営業活動を強化し、収益拡大に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の実績につきましては、売上高28,724百万円（前年同四半期比0.2%減）、営業利益649百万円（前年同四半期比12.4%増）、経常利益690百万円（前年同四半期比11.3%増）、四半期純利益798百万円（前年同四半期比99.9%増）となりました。

事業別セグメントの業績の状況

【建設関連事業】

国内の建設関連事業では、引き続き大型官民工物件等への建設資材関連の販売が順調に推移し、増収となりました。中国市場においては、子会社1社が連結から外れたため減収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,082百万円となりました。

【電設資材事業】

電設資材部門は、特に太陽光発電設備やLED照明等創エネ・省エネ関連商材の販売が堅調に推移し、増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,016百万円となりました。

【カーライフ関連事業】

石油部門では、燃料油の需要低迷と油外商品の販売不振、原油価格の下落による販売単価の値下がりにより減収となりました。オート部門では、中古車販売は苦戦しましたが新車販売は順調に推移し、車検入庫促進にも努めたことで、ほぼ前年並みとなりました。

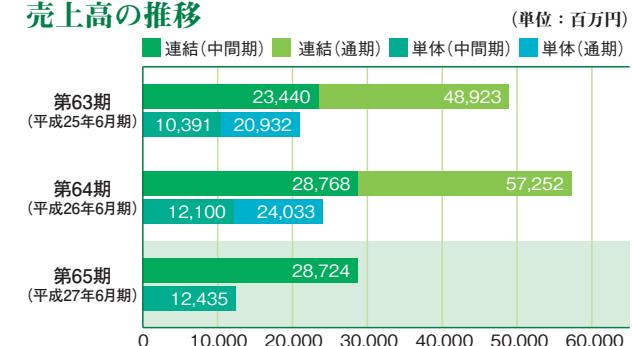
この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,746百万円となりました。

【住宅・生活関連事業】

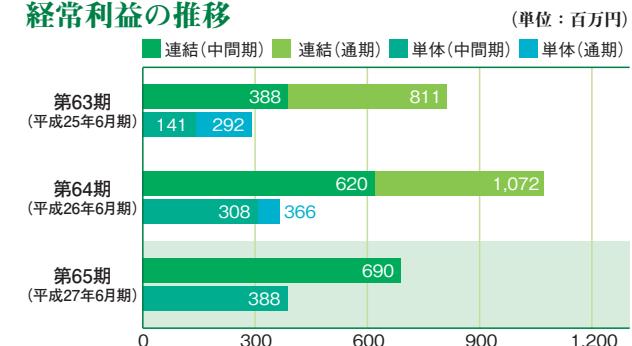
主な事業として、不動産部門では、消費税率引き上げの影響が続き、建売分譲物件の売買が減少し、減収となりました。農産物部門では、果実類の取扱量が増えたことや、きのこ培地の販売が順調に推移し、増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,878百万円となりました。

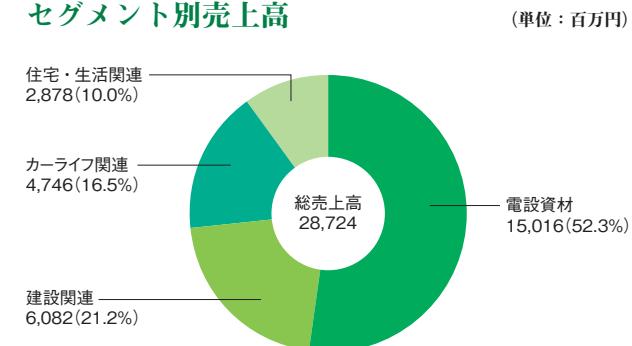
売上高の推移



経常利益の推移



セグメント別売上高



## 四半期連結財務諸表

### 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成26年12月31日)	前連結会計年度末 (平成26年6月30日)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,196	1,615
受取手形及び売掛金	11,878	10,060
商品及び製品	1,796	1,560
仕掛品	287	97
原材料及び貯蔵品	259	272
繰延税金資産	130	218
その他	734	495
貸倒引当金	△ 106	△ 98
<b>流動資産合計</b>	<b>17,176</b>	<b>14,221</b>
<b>固定資産</b>		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,369	2,550
機械装置及び運搬具	1,586	1,605
土地	6,207	6,244
リース資産	260	267
建設仮勘定	737	690
その他	253	261
有形固定資産合計	11,415	11,621
無形固定資産	300	290
投資その他の資産		
投資有価証券	801	659
繰延税金資産	375	—
その他	1,751	1,742
貸倒引当金	△ 404	△ 393
投資その他の資産合計	2,524	2,009
<b>固定資産合計</b>	<b>14,239</b>	<b>13,920</b>
<b>資産合計</b>	<b>31,415</b>	<b>28,142</b>

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成26年12月31日)	前連結会計年度末 (平成26年6月30日)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	7,088	5,742
短期借入金	8,029	7,784
未払法人税等	151	226
賞与引当金	131	325
その他	2,090	1,386
<b>流動負債合計</b>	<b>17,490</b>	<b>15,464</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	3,906	3,524
再評価に係る繰延税金負債	452	452
退職給付に係る負債	1,348	1,296
役員退職慰労引当金	176	166
環境対策引当金	116	131
資産除去債務	61	60
その他	297	344
<b>固定負債合計</b>	<b>6,358</b>	<b>5,977</b>
<b>負債合計</b>	<b>23,848</b>	<b>21,442</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,264	1,264
利益剰余金	5,713	4,958
自己株式	△ 46	△ 45
<b>株主資本合計</b>	<b>6,932</b>	<b>6,177</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	128	68
土地再評価差額金	50	50
為替換算調整勘定	216	179
退職給付に係る調整累計額	△ 23	△ 35
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>372</b>	<b>263</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>262</b>	<b>258</b>
<b>純資産合計</b>	<b>7,567</b>	<b>6,699</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>31,415</b>	<b>28,142</b>

### 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成26年7月1日から 平成26年12月31日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成25年7月1日から 平成25年12月31日まで)
<b>売上高</b>	<b>28,724</b>	<b>28,768</b>
売上原価	25,053	25,087
<b>売上総利益</b>	<b>3,671</b>	<b>3,680</b>
販売費及び一般管理費	3,021	3,103
<b>営業利益</b>	<b>649</b>	<b>577</b>
営業外収益	189	183
受取利息	6	5
持分法による投資利益	—	15
為替差益	35	19
仕入割引	83	75
不動産賃貸料	25	28
その他	38	39
営業外費用	148	140
支払利息	99	109
持分法による投資損失	18	—
その他	30	31
<b>経常利益</b>	<b>690</b>	<b>620</b>
特別利益	1	81
固定資産売却益	0	11
投資有価証券売却益	—	61
投資有価証券評価損戻入益	1	5
その他	—	3
特別損失	27	5
固定資産売却損	26	—
固定資産除却損	0	1
環境対策引当金繰入額	—	3
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>664</b>	<b>697</b>
法人税、住民税及び事業税	161	229
法人税等調整額	△ 295	51
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	<b>799</b>	<b>415</b>
少数株主利益	0	16
<b>四半期純利益</b>	<b>798</b>	<b>399</b>

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成26年7月1日から 平成26年12月31日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成25年7月1日から 平成25年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	526	△ 129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 508	△ 462
財務活動によるキャッシュ・フロー	555	1,541
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	2
現金及び現金同等物の増減額	574	951
現金及び現金同等物の期首残高	1,154	993
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,728	1,944

会社概要

商号 株式会社高見澤  
 設立 昭和26年3月29日  
 資本金 1,264,300,000円  
 従業員数 324名  
 事業部、営業所等 37拠点

ホームページのご案内

<http://www.kk-takamisawa.co.jp/>

当社グループのさまざまな情報は  
 こちらでもご覧いただけます。



役員

代表取締役社長	高見澤 秀 茂	常務取締役	原 山 稔 明	常勤監査役	小 林 栄 八 州
専務取締役	赤 沼 好 宏	常務取締役	高見澤 尊 昭	社外監査役	武 田 俊 男
専務取締役	高見澤 雅 人	常務取締役	米 山 剛	社外監査役	錦 澤 裕
常務取締役	佐 藤 倫 正	取締役	小 林 茂 勝		
常務取締役	大 井 文 成	取締役	宮 澤 信 夫		

グループ会社

連結子会社

社名	資本金
昭和電機産業株式会社	750百万円
直江津臨港生コン株式会社	50百万円
オギワラ精機株式会社	10百万円
株式会社アグリトライ	44百万円
信州電機産業株式会社	40百万円
淄博高見澤混凝土有限公司	3,200万元
烟台市長野建材有限公司	170百万円

関連会社

社名	資本金
山東建澤混凝土有限公司	3,000万元

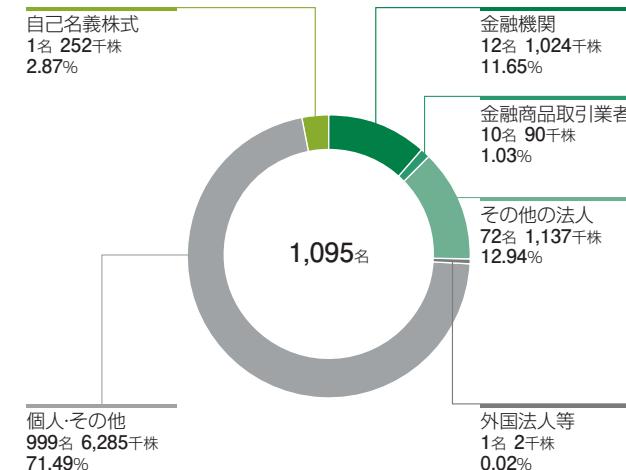
株式の状況

発行可能株式総数…………… 18,915,000株  
 発行済株式の総数…………… 8,792,000株  
 1単元の株式数…………… 1,000株  
 株主数…………… 1,095名(前期末比70名減)  
**大株主(上位10名)**

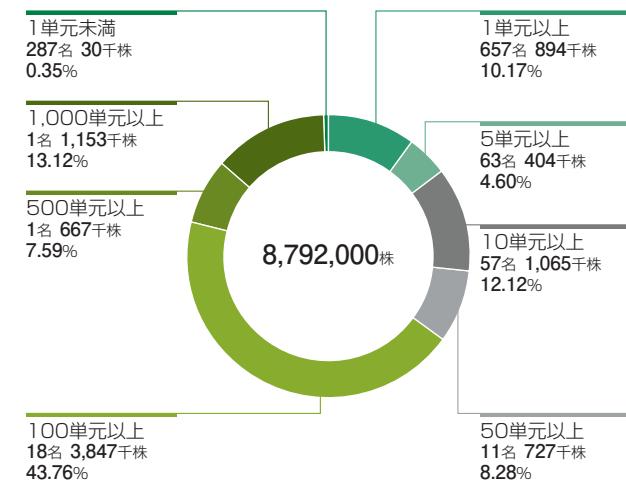
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
高見澤秀茂	1,153	13.51
高見澤昭二	667	7.82
株式会社八十二銀行	423	4.95
高見澤豊子	419	4.91
高見澤愛子	385	4.52
高見澤雅人	300	3.52
増田元成	261	3.06
増田多加子	246	2.88
高見澤吉晴	240	2.82
高見澤達郎	193	2.26

(注) 1. 当社は自己株式252,185株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。  
 2. 持株比率は自己株式(252,185株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



所有株式数別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
基準日	毎年6月30日 そのほか必要ある場合には、あらかじめ公告いたします。
定時株主総会	9月中
期末配当金受領株主確定日	6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先・送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載し公告します。 公告掲載の当社のホームページアドレス <a href="http://www.kk-takamisawa.co.jp/koukoku/">http://www.kk-takamisawa.co.jp/koukoku/</a>

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。  
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。